

一 次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① センモン家の意見を聞く。
- ② アタリが暗くなる。
- ③ 趣味のために時間をサク。
- ④ ちらしをスル。
- ⑤ 食材がイタまないように気を配る。
- ⑥ ルス番を頼まれる。
- ⑦ 先生のお宅をホウモンする。
- ⑧ 無駄な費用をハブク。
- ⑨ 水をソソグ。
- ⑩ カモツ船が到着する。

二 次のaからeがそれぞれことわざや慣用句になるように空欄①②③④⑤にあてはまる語句

をひらがなで答えなさい。また、それぞれの生き物を後の【語群】から選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|---|---|---------------------------|
| a | ① | 猿の仲 |
| b | ② | 突猛進 |
| c | ③ | 窮 <small>ききう</small> 猫をかむ |
| d | ④ | 足 |
| e | ⑤ | 脚をあらわす |

【語群】

- | | | | | | |
|---|-----|---|----|---|------|
| ア | ネズミ | イ | ウシ | ウ | ヘビ |
| エ | ウマ | オ | イヌ | カ | イノシシ |

③ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(字数制限のある問いには全て句読点を含んで答えなさい。)

こうして、植物は、木から草へと進化していった。

しかし、①考えてみると不思議である。

木になる木本性の植物は、何十年も何百年も生きることが出来る。なかには屋久島※1の縄文杉じようもんすぎのように、樹齡が何千年にも及ぶようなものさえある。一方、草本性の植物の寿命は一年以内か、長くてもせいぜい数年である。

その気になれば、数千年も生きることのできる植物が、わざわざ進化を遂げて、寿命が短くなっているのである。

すべての生物は死にたくないと思ってる。少しでも長生きしたいと思ってる。千年、生きられるのであれば、千年、死なずにいたいと誰もが思うことだろう。それなのに、どうして植物は、進化の結果、短い命を選択したのだろうか。

長い距離のマラソンレースを走り抜くことは大変である。さらに障害物レースだったとしたら、どうだろう。四二・二九五キロ先のゴールにたどり着くことは、簡単ではない。

しかし、それが一〇〇メートルだったら、どうだろう。全力で走り抜くことができる。もし、多少の障害が待ち構えていたとしても、全力で障害を乗り越えられるはずだ。テレビ番組の企画で、マラソン選手と一〇〇メートルずつバトンリレーをする小学生の対決が行われるが、マラソン選手も、全力疾走する小学生のバトンリレーにはかなわない。

植物も同じである。千年の寿命を生き抜くことは難しい。途中で障害があれば、枯れてしまうかもしれない。これに対して、一年の寿命を生き抜く方が、天命を全うできる可能性が高いだろう。だから、植物は寿命を短くし、一〇〇メートルを走り切つてバトンを渡すように、次々に世代を更新していく方を選んだのである。

ある。特に、植物は世代を経ることで変化したり、進化を進めたりすることができる。そのため、世代を進めることで、変化する環境や時代の移り変わりに対応することも可能になるのである。

仏教では「老いること」や「死ぬこと」は苦であるとされている。

すべての生き物が「死にたくない」と思っている。A、すべての生き物は、老いさらばえて、最後には必ず死を迎える。それは□きとし□けるものの逆らえない宿命である。

しかし、である。すべての生き物は死ぬことなど望んでいないはずなのに、「老いて死ぬ」という行為自体が、生物が進化の過程で自ら創り出したものなのである。

私たちは自動車や電化製品が古くなるように、歳を取れば、体中の器官が古くなってガタが来るのは当たり前だと思っっている。B、考えてみれば、私たちの体の細胞は常に更新されて新しくなっている。

肌も古い細胞は垢あかとなって、常に新しい細胞が生まれている。C、百歳の身体であっても、私たちの体は日々生まれ変わり、赤ちゃんと変わらない肌をしても何らおかしくないものである。しかし、私たちの体はいつまでも赤ちゃんのような肌ではいられない。私たちは確実に老いていく。D、私たちの体が、自ら老いていくようにプログラムされているからである。私たちの体の細胞には、自ら死ぬためのプログラムが組み込まれている。体の細胞数を一定に保つために、一定の細胞分裂を行うと死滅するようになっているのである。このような細胞死はアポトーシス(プログラムされた死)と呼ばれている。

② 「死」は地球上に生まれた生命が創り出した発明品である。

細菌やアメーバのような原始的な原核生物げんかくせいぶつは、細胞分裂せうぶつをして増殖ぞうしつしていく。細胞分裂をして増やしても、元の細胞と同じ細胞が増えるだけである。原核生物はこれを無限に繰り返していく。細胞分裂を繰り返したからと言って、年老いて細胞が疲弊ひびしていくことはない。そして、細胞が増えても死滅をするわけではない。

から、③原核生物は永遠に死ぬことはないと言えるかも知れない。すべての生物が死ななければならぬわけではないのだ。

しかし、同じ単細胞生物でもゾウリムシのような真核生物は違う。ゾウリムシは分裂回数が有限である。そして、七〇〇回ほど分裂をすると、寿命が尽きたように死んでしまうのである。ただし、死ぬまでに他のゾウリムシと接合をして、遺伝子を交換すると、新たなゾウリムシとなって生まれ変わる。すると分裂回数はリセットされて、再び七〇〇回の分裂ができるようになるのである。こうして生まれ変わったゾウリムシは、元のゾウリムシと違う個体だから、これは次の世代を作って、自分は死んでしまったと見ることができ。こうして、真核生物は「死」と「再生」という仕組みを創り出したのである。

「形あるものはいつかは滅ぶ」と言われるように、この世に永遠であり続けることのできるものはない。何千年も生き続けられれば、その間にさまざまな故障もあることだろう。そこで生命は永遠であり続けるために、自らを壊し、新しく作り直すことを考えた。つまり、生命は一定期間で死に、その代わりに新しい生命を宿すのである。

また、時代の変化に合わせて、自らを変えていく必要がある。進化を考えれば、元の個体を増殖し続けるよりも、古い個体を壊して、新しい個体を作った方がよい。

そこで、生命は死と再生を繰り返して、世代を進めることで命をリレーしていく仕組みを創り出した。そして、変化し続けることによって、永遠であろうとしたのである。

④生命は死ぬことによって、永遠であり続ける。そして、生物は限られた命を全うするために、全力で生き抜くのである。

命の輝きを保つために、生命は限りある命に価値を見出したのである。

(『植物はなぜ動かないのか』 稲垣栄洋)

※1 屋久島の縄文杉：屋久島は鹿児島県の島。縄文杉は屋久島に生えている、推定樹齢三千年といわれる杉の木。

※2 細胞分裂……………1個の細胞が2個に分かれることで行なわれる、細胞の増え方。

※3 疲弊……………疲れ弱ること。

※4 単細胞生物……………一つの細胞からなる生物。人間のように多くの細胞からなる生物は多細胞生物という。

※5 接合……………ゾウリムシが子孫を残すために、体の一部を他のゾウリムシと接着させる行動のこと。

問一 二重傍線部「きとしけるもの」の二か所の空欄には同じ漢字が入ります。その漢字を書きなさい。

問二 空欄 A D に入る最も適当なものを次の中からそれぞれ選び記号で答えなさい。

ア たとえ イ ただし ウ それでも エ それは

問三 傍線部①「考えてみると不思議である」とありますが、どんなことが不思議なのですか。本文中の言葉を用いて二十字以内で答えなさい。

問四 本文中ではマラソンをたとえとして用いていますが、それを具体的に説明したものとして最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 走る距離を人間の寿命にたとえ、大人のマラソン選手よりも子どものほうが生き物として進化しているのだと主張している。
- イ 走る距離を植物の大きさにたとえ、大きな木のほうが身体が強い分だけ生存競争を有利に勝ち抜くことができるかと述べている。
- ウ 走る距離を生き物の進化のスピードにたとえ、寿命の短い草のほうが環境の変化に応じて素早く進化することを説明している。
- エ 走る距離を植物の寿命の長さにたとえ、短い寿命の草のほうが環境の変化や時代の移り変わりに有利に適応することを説明している。

問五 傍線部②「『死』は地球上に生まれた生命が創り出した発明品である」とは、どういうことですか。最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 「死」は生命にとって苦しみであり、生き物はみなできる限り長生きをしたいと願っているということ。
- イ 「死」は生命が進化の歴史を歩む過程で生じた現象であり、生命にとって有意義なものであるということ。
- ウ 「死」を意識するのは高等な生物だけであり、なかでも人間は限りある生を輝かせるために努力するということ。

エ 「死」は生命にとってあらかじめプログラムされたものであり、一定の回数 of 分裂を行うと細胞は死滅するということ。

問六 傍線部③「原核生物は永遠に死ぬことはない」とはどういうことですか。原核生物の特徴がわかるように百字以内で説明しなさい。

問七 傍線部④「生命は死ぬことによって、永遠であり続ける」の説明として最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 前の世代が死んでも次の世代が誕生していれば生命そのものは続くということ。
- イ 長い一生のうちに故障や病気にみまわれた生物は命を失うことになるということ。
- ウ 自らを犠牲にした先人の生きかたは多くの人によって語り継がれ記憶されるということ。
- エ 一つの生命が失われることによって、他の生命が生きることができるといいうこと。

問八 「命」と「生命」という語句の本文の中での使われ方の違いがわかるようにそれぞれ簡単に説明しなさい。

【四】 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(字数制限のある問いにはすべて句読点を含んで答えなさい)

本文中の「俺」は電機会社のコールセンター(電話相談窓口)で派遣労働者として働いている。「徳永さん」はその電機会社の正社員でコールセンターの管理を担当している。「ティアン」は、「俺」と同じコールセンターで働いている女性で、「町村」はティアンの姓である。

【一】

三日前、木曜日の午後、徳永さんは「町村さん」との仕事の打合せを終えた後、次の日曜日が野球でつぶれることについてひとしきり愚痴をこぼした、らしい。

「デートの約束でもあったんですか？」とティアンは(そんなことはあるわけもないのを承知の上で)たずねた。

「いや、まあ、なんというか……」と徳永さんはA口ごもった。「町村さんが応援に来てくれれば、ちっとはやる気が出るんだが。今回の試合は向洋台球場でやるんで、誘いにくい」

このときティアンの表情が変わったことに、徳永さんはきつと気づかなかっただろう。

「向洋台球場って、海のそばの……？」

「そうだよ」徳永さんはすっかり誘いに失敗したつもりになっていた。「近くに市立動物園もあるんだ。今は豚と山羊とウサギとアヒルしかないようだけど、昔はライオンとキリンとヒグマを飼ってたんだとき」

「あそこの近くに団地があります。向洋台団地。わたし、昔そこに住んでました」

徳永さんはそれがうれしい知らせなのかどうか判断できなかった。

ティアンが続ける。

「そこにアジアのいろんな国から来た人が住んでいます。※1ベトナム難民※2だった人もいて、わたしもそうでした」

「へえ、そんな団地なんだ。町村さんが住んできたのは、いつごろ？」

「小学校三年まで。安賀多君とわたし、学校も学年も同じだったって、いつか話したでしょう？安賀多君も

同じ団地に住んでたんです」

ティアンは少し考える表情になった。そして、安賀多君をここに呼びたいけど、いいですか？と徳永さんにたずねた。徳永さんは、了承した。

【二】

……というやりのりがあつて(俺は後でティアンから聞かされた)、俺のデスクで内線の着信を示すライトが点滅を始め、ちよと相談の電話が途切れていたので、すぐに内線用の受話ボタンを押した。俺は、ティアンが、徳永さんもいるから会議室に来てというのを聞いて、なにか注意をされるのかと①気分が暗くなった。十月に入って立て続けに二件、客とトラブルになっていた。

俺の職場は、外から見れば、鴨島電業の電話受付窓口だが、実際には業者^{かもしまでんぎょう}に外部委託^{いたたく}されていて、鴨島電業の正社員は一人もない。ただし業者への丸投げではなく、電業とコールセンター請負会社^{うけがひ}が共同出資して「鴨島電業コールサービス」として設立されたものだ。

ティアンは、元は請負会社の契約社員だったのだが、能力を見込まれて「コールサービス」に正社員として採用された。今は現場の「統括主任」の一人だ。

俺はかつてのティアンと同様、請負会社と契約し、そこから「コールサービス」に派遣されている。実際に電話を取る「コミュニケーター」の大半がそうであるように、俺も派遣社員なのだ。鴨電は三つ目の職場だった。カスタマーサービスに電話すると、何パーセントかの確率で、明らかにやる気の無い陰鬱^{いんうつ}な声の電話相手にぶち当たるものだ。かつての俺はそれだった。今の俺は平均点くらいの電話相手だ。徳永さんが職場を明るくしてくれて、そうだった。

【三】

だが、会議室に行き、今度の日曜日に鴨ネギファイターズが……という話を聞いて、俺はB拍子^{※3}抜けした。勤務時間中に日曜日の相談とは、②正社員たちはいい気なもんだ。俺は非正規労働者だから、ひ

がむ権利があるだろう。確かに、コールルーム全体が暇になる時間帯ではあったのだが。

ティアンが、一緒に応援に行こう、と誘って来た。

「いや、無理」

「試合、向洋台球場であるんだって」とティアンは言った。「ね？行くでしょ？」

俺が黙っていると、ティアンは、

「じゃ、決まり。徳永さん、わたしと安賀多君は徳永さんの応援に行きます」と勝手に申告した。

「無理すよ」③俺はと小声で言った。日曜日に約束や用事なんて一つもないのだが。

「行こうよ、アガタ」

改めてティアンの顔を見たら、気が変わった。向洋台という地名が、それがティアンの口から出たということが、俺を動かしたらしい。でも、せっかくの日曜日に会社の野球チームと一緒に行動するのは嫌だ。

「本当は行けないんですけど」と俺は言った。「どうせ行くなら、向洋台へは築港から渡し舟で行きたいん

で。徳永さんとか、車でしょ？④俺、船が好きなんです、そつちから行きます」

※4 「ガタがそうしたいなら、それはかまわないよ」と徳永さんは言った。

しかし、ティアンが、

「船、それいいね。わたしもそれで行く」と口にする、徳永さんは、

「今時、渡し舟なんておもしろい。俺もそうするよ」と話をあわせた。

『ポケットの中のレワニワ』 伊井直行

※1 ベトナム……………東南アジアにある国の名前。

※2 難民……………戦争などの理由によって、自分の国に住むことが危険になったため外国に移住しなくてはならなくなった人たち。

※3 鴨ネギファイターズ…鴨島電業の社員たちの草野球チーム。

※4 ガタ……………安賀多のあだ名。

問一 二重傍線部について、A「口ごもる」、B「拍子抜け」の意味として最も適切なものをそれぞれ選び記号で答えなさい。

A 口ごもる

ア 言いかけてやめる

イ 何度もつかえる

ウ 話をそらす

エ 言い換える

B 拍子抜け

ア 普通と違うことを言うこと

イ 怒りがこみ上げること

ウ 緊張が急にゆるむこと

エ 予想が外れること

問二 「ティアン」についての説明として、最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 「ティアン」はベトナムから難民として来日し、現在はコールサービスの正社員になっている。

イ 「ティアン」は向洋台団地に小学校三年生まで住んでおり、今は再び同じ団地に住んでいる。

ウ 「ティアン」は請負会社と契約し、そこから「コールサービス」に派遣されている。

エ 「ティアン」は安賀多に好意を持っており、そのため徳永さんを邪魔に思っている。

問三 本文の【I】の部分から読み取ることが出来る徳永さんの人柄について、最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 安賀多の悩みを聞くために野球の話で引き付ける用意周到な人物。
- イ 誰にでも気さくに話かけ、相手の心を開かせてしまう天真爛漫な人物。
- ウ 相手の都合も聞かずに自分の要求を一方的にまくしたてる強引な人物。
- エ テイアンに好意を持っているが上手に誘うことのできない不器用な人物。

問四 傍線部①「気分が暗くなった」とありますが、それはなぜですか。理由を八十字以内で答えなさい。

問五 傍線部②「正社員たちはいい気なもんだ」とありますが、「いい気なもん」とはここではどういうことですか。最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 派遣社員たちが目先のことしか考えないのに、正社員は日曜日のことを考えていることへの賞賛。
- イ 客からの電話の対応は派遣社員に任せて、正社員たちは気楽に過ごしているということへの皮肉。
- ウ 不安定な身分の派遣社員と違い、日曜日に心おきなく休むことのできる正社員へのうらやましき。
- エ 上司に見張られて仕事をしている派遣社員に対して自由に過ごせる正社員との違いへのあきらめ。

問六 傍線部③「俺はと小声で言った」について、この時の「俺」の気持ちを説明しなさい。

問七 傍線部④「俺、船が好きなんで、そっちから行きます」とありますが、「俺」がこのように言った理由として最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア テイアンと一緒に野球の応援をしてみてもよいという気持ちにはなつたが、休みの日にまで会社の人たちに気を使いたくなかつたから。
- イ 休みの日にまで会社の人たちと一緒に行動するのは面倒だ思うと同時に、車も買えない自分のふがいなさを自覚したくなかつたから。
- ウ 懐かしい向洋台団地に久しぶりに行けるということに心が浮き立って、昔よく乗っていた渡し船にもう一度乗ってみたいと思つたから。
- エ せっかくの休みに野球の応援に行くのだから、会社の上司の徳永さんとは別行動をしてテイアンともっと仲良くなつてみたかつたから。

問八 この文章の表現についての説明として最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

- ア 「俺」の少年時代の向洋台の様子や、後で聞いたテイアンと徳永さんのやり取りなど、時間や空間が複雑に入れ替わり、幻想的に表現されている。
- イ 会話を多く用いることによって「俺」の周りの人々が生き活きと描かれると同時に、「俺」についての説明も「俺」自身によって語られている。
- ウ 音や様子を表す語が効果的に使われており、会社の会議室の静かなようすと電話が鳴るコールセンターの活気あるようすが対照的に表現されている。
- エ 主な登場人物の心情についてはそれぞれの内面が客観的に描かれることで、それぞれの人物が抱える本音と建前の違いをはっきり示されている。

問題は以上です。

